

2016年度第3四半期決算の概要 及び 2016年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2017年2月2日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

目次

1. 2016年度第3四半期決算の概要	
1)2016年度第3四半期 事業概況およびトピックス	… 1、2
2)決算の概要	… 3、4
3)セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)	… 5
4)営業外損益及び特別損益の内訳	… 6
5)貸借対照表	… 7
6)キャッシュ・フロー計算書	… 8
2. 2016年度業績予想の概要	
1)業績予想の概要	… 9
2)セグメント別 売上高・営業利益の予想 (対前年決算)	…10
3)セグメント別 営業利益の予想 (対前回予想・年度)	…11
4)営業外損益及び特別損益の内訳	…12
5)キャッシュ・フロー計算書	…13
3. 補助資料	…14~23

1. 2016年度第3四半期決算の概要

1) 2016年度第3四半期 事業概況およびトピックス

<事業概況>

- ◆**モビリティ**： エラストマー、機能性コンパウンド及びポリプロピレン・コンパウンドは、主に海外を中心に自動車部品関連材料の需要好調が継続、また機能性ポリマーも、ICT関連用途の堅調な需要に的確に対応。
- ◆**ヘルスケア**： ビジョンケア材料の販売は堅調に推移、不織布は、プレミアム紙おむつの消費は堅調に推移したものの、流通在庫消化の影響が継続。
歯科材料は、欧米を中心に販売は堅調。
- ◆**フード&パッケージング**： コーティング・機能材及び機能性フィルム・シートの販売は堅調、一方、農薬は前年同期比で減販となった。
- ◆**基盤素材**： 内需堅調、ナフサクラッカーを始めとする設備稼働が高水準で推移。また、主要サプライヤーのトラブル等に起因し、石化製品等の海外市況は高水準で推移。
大型市況製品の構造改革は、計画どおり実施。

1) 2016年度第3四半期 事業概況およびトピックス

<第3四半期のトピックス>

- ・敗血症に関する新たな検査システムを事業化へ（16年10月）
（富山大学との共同研究、AMED産学連携医療イノベーション創出プログラムに採択）
- ・名古屋工場に電解液の製造設備を建設・完工（16年10月）
（5,000トン/年、17年度営業運転開始予定）
- ・台湾プラスチック社との電解液JVの設備増強工事着工（16年12月）
（3,500トン/年、17年度営業運転開始予定）

<第4四半期のトピックス(予定)>

- ・タイにおける通気性フィルム製造設備の営業運転開始
（4,200トン/年）
- ・新規特殊イソシアネート2製品の量産化
（2,000トン/年）

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	15年度 4-12月決算	16年度 4-12月決算	増減	増減率
売上高	10,318	8,701	△ 1,617	△16%
営業利益	564	716	152	27%
営業外損益	△ 37	△ 21	16	—
経常利益	527	695	168	32%
特別損益	△ 8	△ 12	△ 4	—
税金等調整前 四半期純利益	519	683	164	32%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	336	500	164	49%
為替レート(円/US\$)	122	107	△ 15	
国産ナフサ(円/KL)	45,600	32,300	△ 13,300	

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	15年度決算	16年度 4-12月決算	増減	増減率
有 利 子 負 債	4,730	4,513	△ 217	△5%
Net 有 利 子 負 債	3,934	3,640	△ 294	△7%
自 己 資 本	3,819	4,271	452	12%
Net D / E レシオ (倍)	1.03	0.85	△ 0.18	—
自 己 資 本 比 率 (%)	30.3	33.4	3.1	—

(単位：社)

摘 要	15年度決算	16年度 4-12月決算	増減
連 結 対 象 会 社 数			
連 結 子 会 社	95	95	0
持 分 法 子 会 社	8	8	0
持 分 法 関 連 会 社	28	29	1
連 結 対 象 会 社 計	131	132	1

3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益			増減内訳		
	15年度 4-12月決算	16年度 4-12月決算	増減	15年度 4-12月決算	16年度 4-12月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
モビリティ	2,407	2,161	△ 246	349	311	△ 38	39	△ 75	△ 2
ヘルスケア	1,252	1,000	△ 252	84	79	△ 5	△ 6	△ 4	5
フード & パッケージング	1,443	1,320	△ 123	157	149	△ 8	8	△ 10	△ 6
基盤素材	4,936	3,954	△ 982	24	239	215	△ 5	170	50
その他	280	266	△ 14	△ 50	△ 62	△ 12	-	-	△ 12
合計	10,318	8,701	△ 1,617	564	716	152	36	81	35

4) 営業外損益及び特別損益の内訳

営業外損益

(単位：億円)

摘 要	15年度 4-12月決算	16年度 4-12月決算	増減
持分法投資損益	16	8	△ 8
金融収支	△ 34	△ 19	15
為替差損益	△ 8	△ 13	△ 5
その他	△ 11	3	14
営業外損益 合計	△ 37	△ 21	16

特別損益

(単位：億円)

摘 要	15年度 4-12月決算	16年度 4-12月決算	増減
資産売却益	39	20	△ 19
事業譲渡益	37	—	△ 37
特別利益計 (A)	76	20	△ 56
固定資産処分・売却損	34	28	△ 6
減損損失	41	4	△ 37
関連事業損失	9	—	△ 9
特別損失計 (B)	84	32	△ 52
特別損益 合計 (A-B)	△ 8	△ 12	△ 4

5) 貸借対照表

(単位：億円)

摘 要	16年3月	16年12月	増減	摘 要	16年3月	16年12月	増減
流動資産	(6,282)	(6,472)	(190)	負債	(8,157)	(7,876)	(△ 281)
現 預 金	796	873	77	買 掛 債 務	1,183	1,318	135
売 掛 債 権	2,453	2,505	52	有 利 子 負 債	4,730	4,513	△ 217
た な 卸 資 産	2,407	2,409	2	そ の 他	2,244	2,045	△ 199
そ の 他	626	685	59				
固定資産	(6,307)	(6,308)	(1)	純資産	(4,432)	(4,904)	(472)
有形固定資産	4,134	4,096	△ 38	株 主 資 本	3,824	4,230	406
無形固定資産	402	369	△ 33	その他の包括利益 累 計 額	△ 5	41	46
投 資 等	1,771	1,843	72	非支配株主持分	613	633	20
合 計	12,589	12,780	191	合 計	12,589	12,780	191

6) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	15年度 4-12月決算	16年度 4-12月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,079	738	△ 341
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 287	△ 298	△ 11
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	792	440	△ 352
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 601	△ 355	246
IV. その他	△ 11	△ 5	6
現預金等増減	180	80	△ 100

2. 2016年度業績予想の概要

1) 業績予想の概要

(単位：億円)

摘 要	15年度決算 (a)		16年度予想 (b)		増減 (b)-(a)		16年度前回予想 (16.11.1発表)
	4-12月	年度	4-12月	年度	年度	%	
売上高	10,318	13,439	8,701	11,850	△ 1,589	△12%	11,740
営業利益	564	709	716	970	261	37%	880
営業外損益	△ 37	△ 77	△ 21	△ 60	17	—	△ 80
経常利益	527	632	695	910	278	44%	800
特別損益	△ 8	△ 219	△ 12	△ 100	119	—	△ 70
税金等調整前 当期純利益	519	413	683	810	397	96%	730
親会社株主に帰属する 当期純利益	336	230	500	550	320	140%	500

為替レート(円/US\$)	122	120	107	109	△ 11	103
国産ナフサ(円/KL)	45,600	42,800	32,300	34,700	△ 8,100	32,200

配 当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	通期
	4 円/株	4 円/株	5 円/株	6 円/株	+ 1 円/株	+ 2 円/株	
通期	8 円/株	通期	11 円/株	通期	+ 3 円/株		

2) セグメント別 売上高・営業利益の予想 (対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上高					営業利益				
	15年度決算		16年度予想		増減 (b) - (a)	15年度決算		16年度予想		増減 (d) - (c)
	4-12月	年度 (a)	4-12月	年度 (b)		4-12月	年度 (c)	4-12月	年度 (d)	
モビリティ	2,407	3,182	2,161	2,950	△ 232	349	449	311	410	△ 39
ヘルスケア	1,252	1,611	1,000	1,370	△ 241	84	116	79	125	9
フード & パッケージング	1,443	1,952	1,320	1,830	△ 122	157	203	149	205	2
基盤素材	4,936	6,308	3,954	5,350	△ 958	24	10	239	320	310
その他	280	386	266	350	△ 36	△ 50	△ 69	△ 62	△ 90	△ 21
合計	10,318	13,439	8,701	11,850	△ 1,589	564	709	716	970	261

3) セグメント別 営業利益の予想 (対前回予想・年度)

(単位：億円)

セグメント	16年度 営業利益			主要増減要因
	前回予想 (16.11.1発表)	今回予想	増減	
モビリティ	400	410	10	販売堅調、円安影響(+) 等
ヘルスケア	150	125	△ 25	不織布における流通在庫調整(-) 等
フード & パッケージング	190	205	15	円安影響(+) 等
基盤素材	220	320	100	交易条件(+)、高稼働継続(+) 等
その他	△ 80	△ 90	△ 10	
合計	880	970	90	

4) 営業外損益及び特別損益の内訳

営業外損益

(単位：億円)

摘 要	15年度決算		16年度予想		増減 (b)-(a)
	4-12月	年度 (a)	4-12月	年度 (b)	
持分法投資損益	16	△ 22	8	△ 5	17
金融収支	△ 34	△ 26	△ 19	△ 30	△ 4
為替差損益	△ 8	△ 19	△ 13	△ 13	6
その他の	△ 11	△ 10	3	△ 12	△ 2
営業外損益 合計	△ 37	△ 77	△ 21	△ 60	17

特別損益

(単位：億円)

摘 要	15年度決算		16年度予想		増減 (b)-(a)
	4-12月	年度 (a)	4-12月	年度 (b)	
資産売却益	39	51	20	20	△ 31
事業譲渡益	37	37	-	-	△ 37
特別利益計 (A)	76	88	20	20	△ 68
固定資産処分・売却損	34	56	28	86	30
減損損失	41	241	4	4	△ 237
関連事業損失	9	10	-	-	△ 10
その他の	-	-	-	30	30
特別損失計 (B)	84	307	32	120	△ 187
特別損益 合計 (A-B)	△ 8	△ 219	△ 12	△ 100	119

5) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘要	15年度決算		16年度予想		増減 (b)-(a)	16年度 前回予想 (16.11.1発表)
	4-12月	年度 (a)	4-12月	年度 (b)		年度
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,079	1,459	738	1,000	△ 459	1,100
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 287	△ 364	△ 298	△ 520	△ 156	△ 690
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	792	1,095	440	480	△ 615	410
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 601	△ 790	△ 355	△ 450	340	△ 400
IV. その他	△ 11	△ 29	△ 5	△ 5	24	△ 30
現預金等増減	180	276	80	25	△ 251	△ 20

3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) セグメントの増減概要（売上高・営業利益）
- 3) 財務データ
- 4) セグメント別 売上高・営業利益の内訳（四半期別）
- 5) 地域別売上高比率
- 6) 2016年度 第3四半期までのトピックス

1) 製品価格の状況

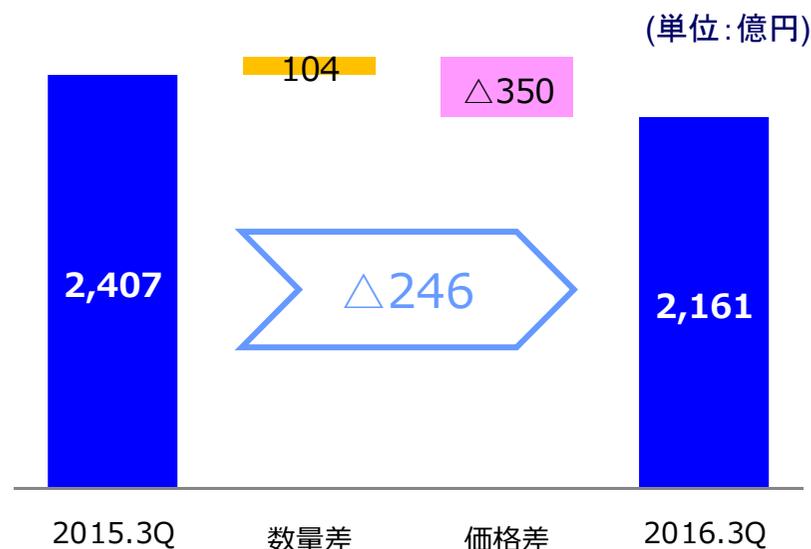
(PE国内、PP国内、PH国内、BPA国内：国内価格改定幅)

年		2014年				2015年				2016年			
月		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
国産基準 ナフサ価格	(円/KL)	72,000	69,900	70,900	66,000	47,000	48,800	47,200	40,900	34,300	31,600	31,300	34,000
PE国内	(円/KG)	+10円 程度	→	→	→	△30円 程度	→	→	△10円 程度	△10円 程度	→	△10円 程度	→
PP国内	(円/KG)	+10円 程度	→	→	→	△30円 程度	→	→	△10円 程度	△10円 程度	→	△10円 程度	→
PH国内 (7オミ15価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
BZ (*ACP)	(\$/T)	\$1,330	\$1,270	\$1,380	\$1,060	\$650	\$790	\$720	\$610	\$560	\$640	\$640	\$670
BPA国内	(円/KG)	+21円 (3月~)	→	→	→	→	→	→	△30円 (10月~)	→	→	→	→
BZ・BPA市況をベースに都度交渉													
BPA 中国市況	(\$/T)	\$1,660	\$1,670	\$1,910	\$1,620	\$1,430	\$1,390	\$1,060	\$910	\$940	\$1,140	\$1,130	\$1,170
PTA 中国市況	(\$/T)	\$940	\$910	\$980	\$760	\$620	\$720	\$630	\$600	\$570	\$610	\$610	\$610
PX (*ACP)	(\$/T)	\$1,300	\$1,260	\$1,350	\$1,040	\$780	\$930	\$820	\$790	\$720	\$800	\$790	\$790
TDI 中国市況	(\$/T)	\$2,330	\$2,320	\$2,340	\$2,280	\$1,940	\$1,740	\$1,570	\$1,510	\$1,510	\$2,080	\$2,360	\$3,590

*ACP アジア圏契約価格

2-1) モビリティセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2016年度第3四半期 対 2015年度第3四半期)



2,161億円 (前年同期比 Δ 246億円)

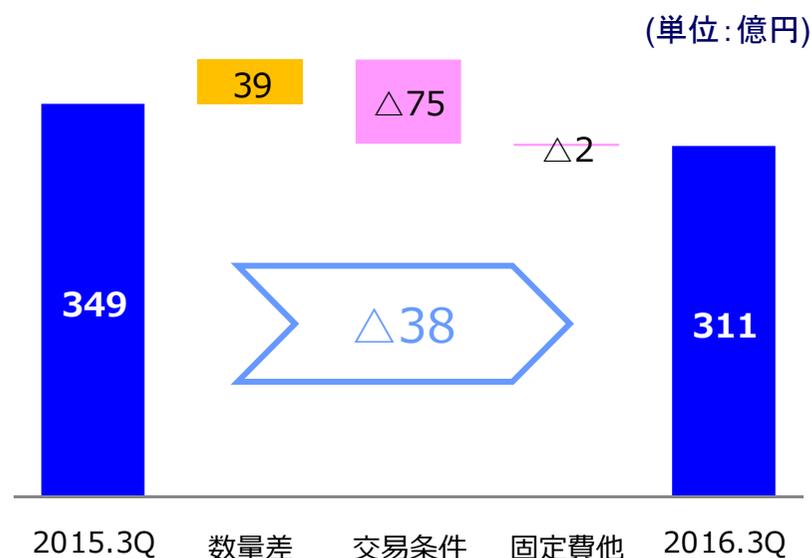
数量差 +104億円

- ・自動車用途を中心とした堅調なグローバル需要に的確に対応。
- ・ICT関連用途の堅調な需要に的確に対応。

価格差 Δ 350億円

- ・原燃料価格下落による販売価格の改定。
- ・為替差等。

営業利益増減 (2016年度第3四半期 対 2015年度第3四半期)



311億円 (前年同期比 Δ 38億円)

数量差 +39億円

- ・自動車用途を中心とした堅調なグローバル需要に的確に対応。
- ・ICT関連用途の堅調な需要に的確に対応。

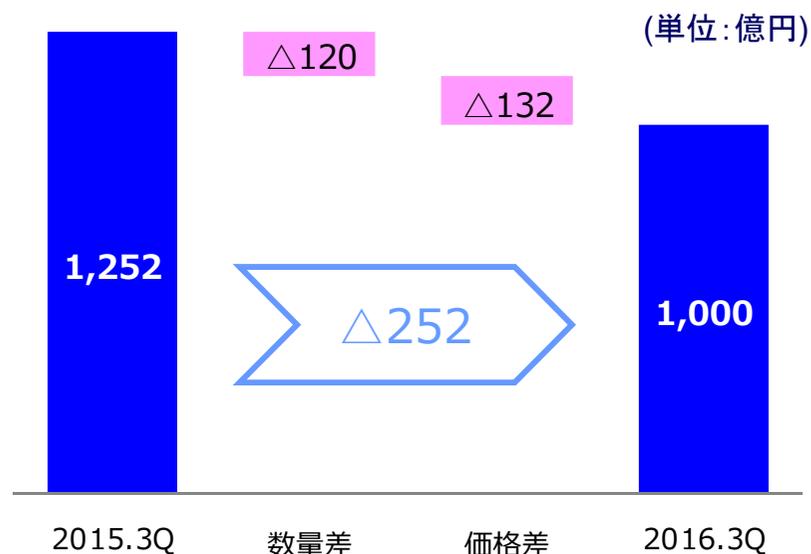
交易条件 Δ 75億円

- ・為替差等の交易条件悪化。

固定費他 Δ 2億円

2-2) ヘルスケアセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2016年度第3四半期 対 2015年度第3四半期)



1,000億円 (前年同期比 △252億円)

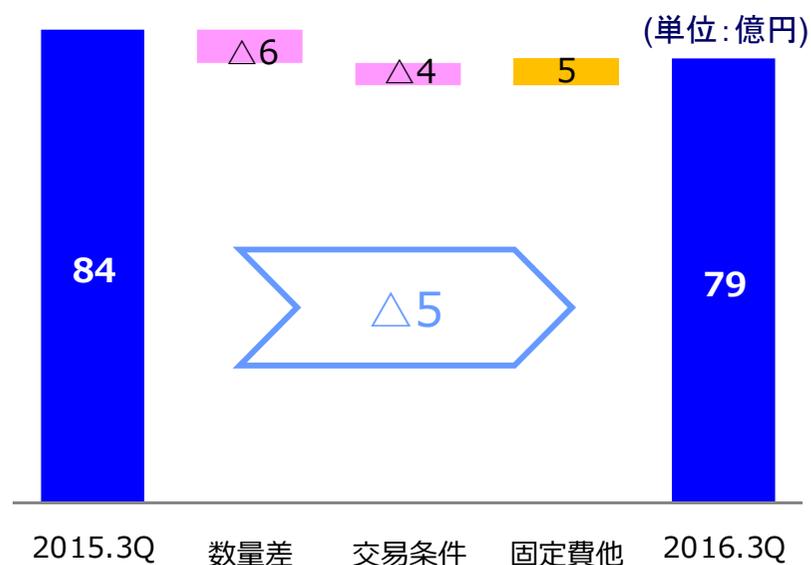
数量差 △120億円 (内、15年度決算期変更影響: △114)

- ・ビジョンケア材料及び歯科材料の販売堅調。
- ・不織布における流通在庫調整。

価格差 △132億円

- ・原燃料価格下落による販売価格の改定。
- ・為替差等。

営業利益増減 (2016年度第3四半期 対 2015年度第3四半期)



79億円 (前年同期比 △5億円)

数量差 △6億円

- ・ビジョンケア材料及び歯科材料の販売堅調。
- ・不織布における流通在庫調整。

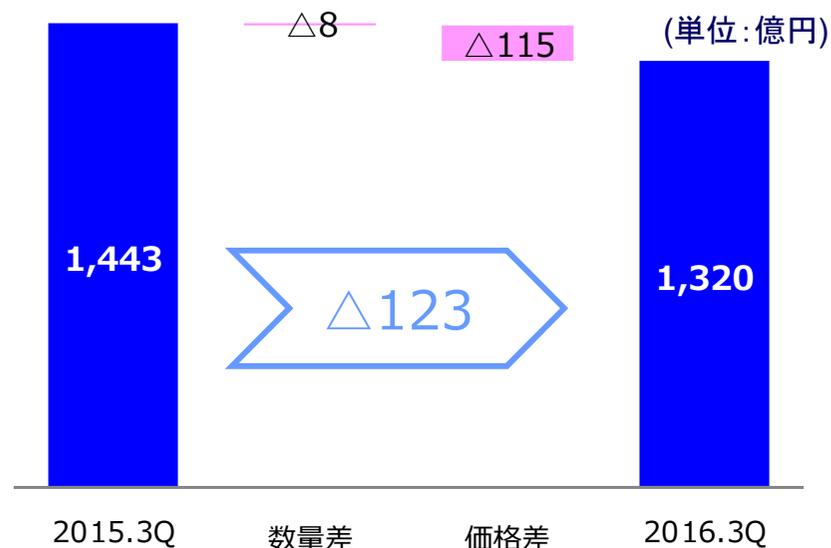
交易条件 △4億円

固定費他 +5億円

- ・歯科材料事業ののれん償却費減少等。

2-3) フード&パッケージングセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2016年度第3四半期 対 2015年度第3四半期)



1,320億円 (前年同期比 Δ 123億円)

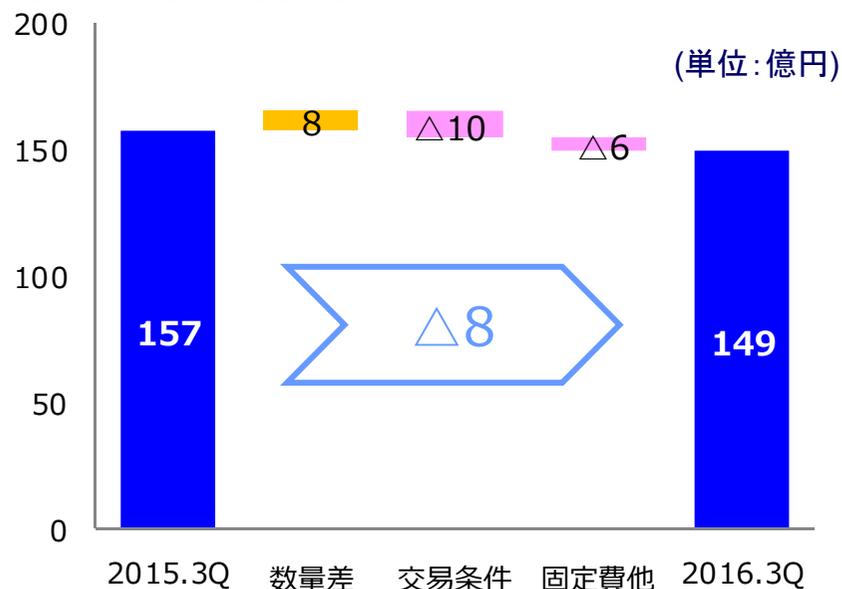
数量差 Δ 8億円

- ・コーティング・機能材及び機能性フィルム・シートの販売堅調。
- ・農薬の減販。

価格差 Δ 115億円

- ・原燃料価格下落による販売価格の改定。
- ・為替差等。

営業利益増減 (2016年度第3四半期 対 2015年度第3四半期)



149億円 (前年同期比 Δ 8億円)

数量差 +8億円

- ・コーティング・機能材及び機能性フィルム・シートの販売堅調。
- ・農薬の減販。

交易条件 Δ 10億円

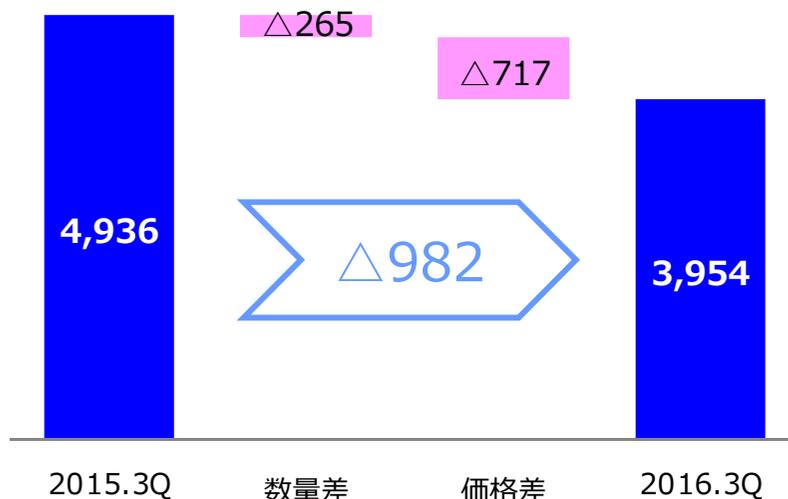
- ・為替差等の交易条件悪化。

固定費他 Δ 6億円

2-4) 基盤素材セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2016年度第3四半期 対 2015年度第3四半期)

(単位: 億円)



3,954億円 (前年同期比 △982億円)

数量差 △265億円

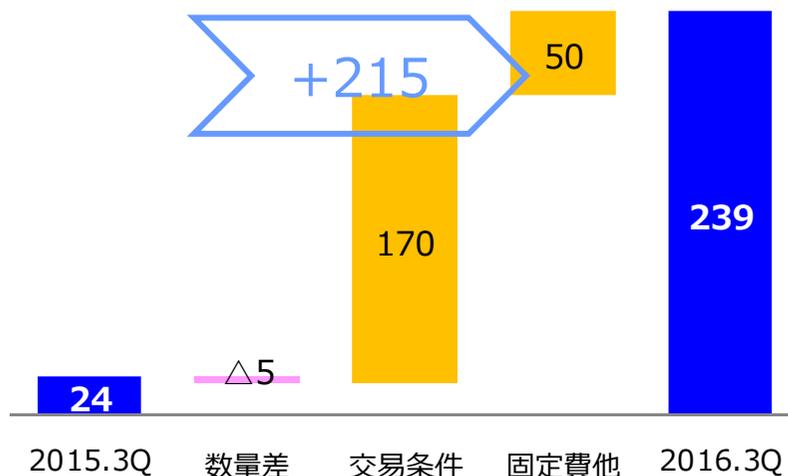
- ・ポリウレタン材料の分社化影響。
- ・事業構造改革による生産規模縮小等。

価格差 △717億円

- ・原燃料価格下落による販売価格の改定。
- ・為替差等。

営業利益増減 (2016年度第3四半期 対 2015年度第3四半期)

(単位: 億円)



239億円 (前年同期比 +215億円)

数量差 △5億円

- ・ポリウレタン材料の分社化影響。
- ・事業構造改革による生産規模縮小等。

交易条件 +170億円

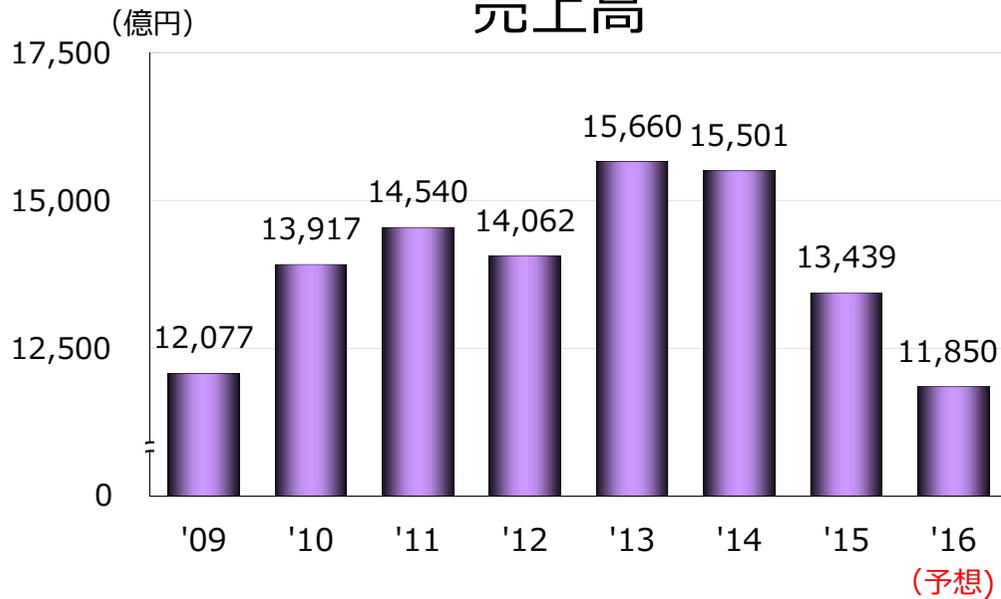
- ・市況、設備稼働改善等。

固定費他 +50億円

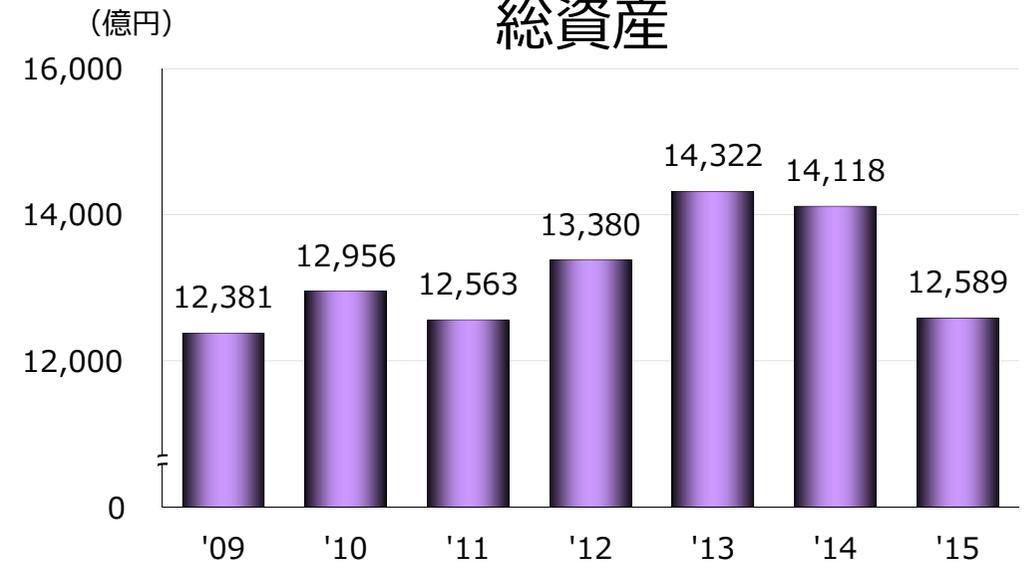
- ・事業構造改革によるポリウレタン材料のプラント停止効果等。

3) 財務データ

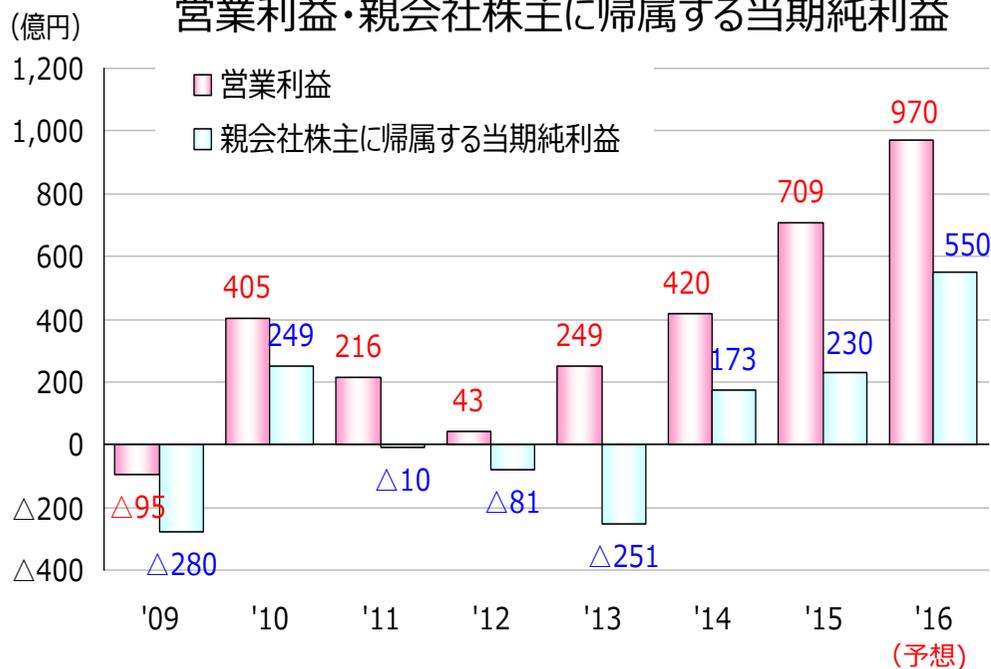
売上高



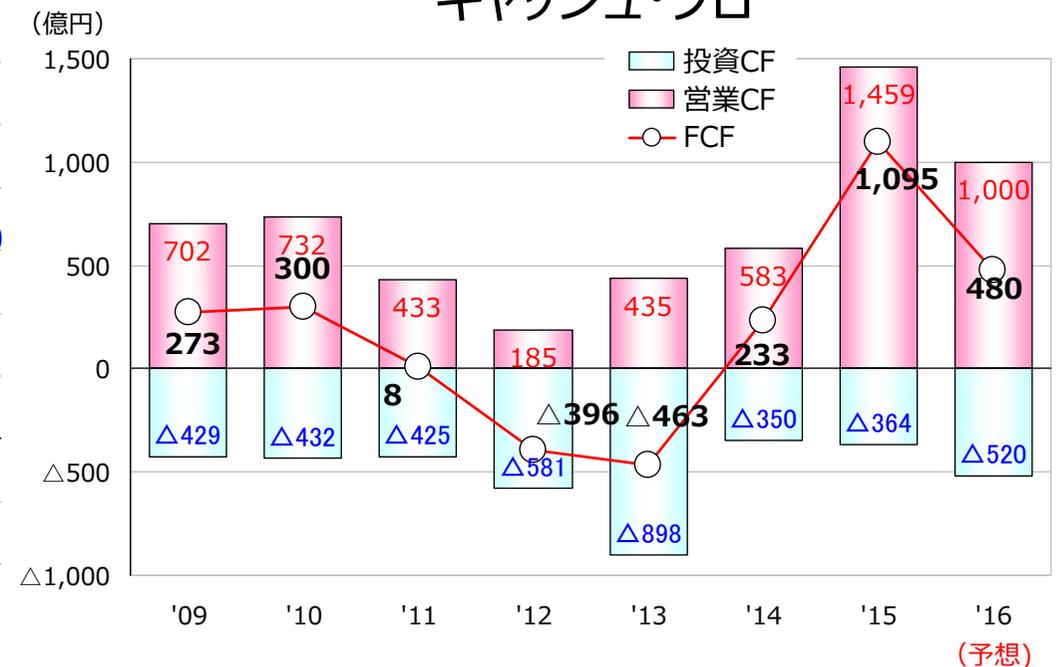
総資産



営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益

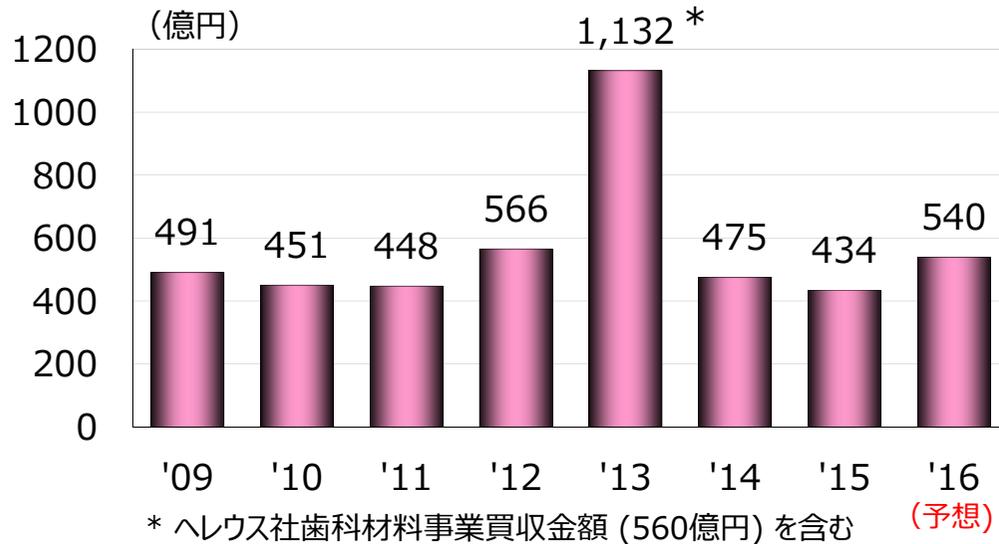


キャッシュ・フロー

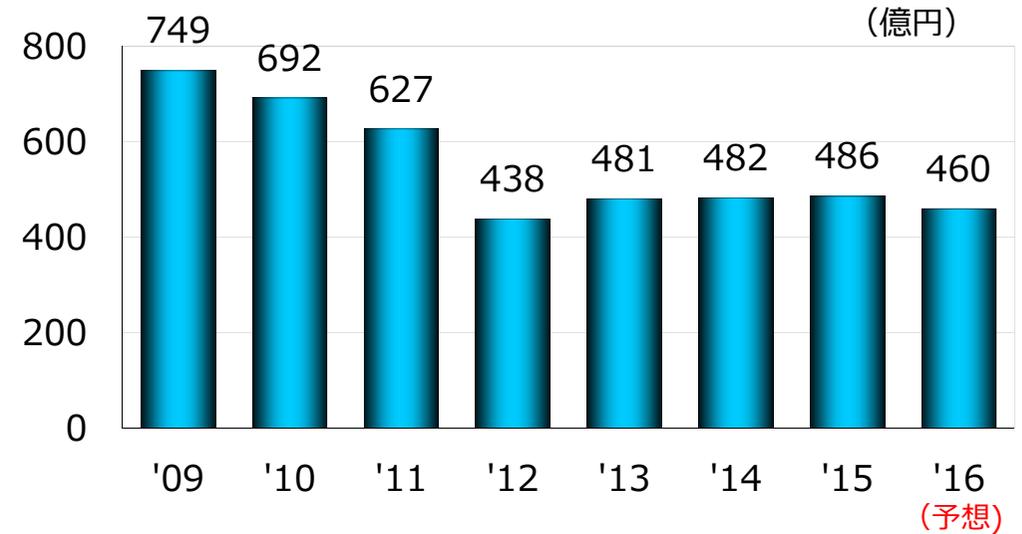


3) 財務データ

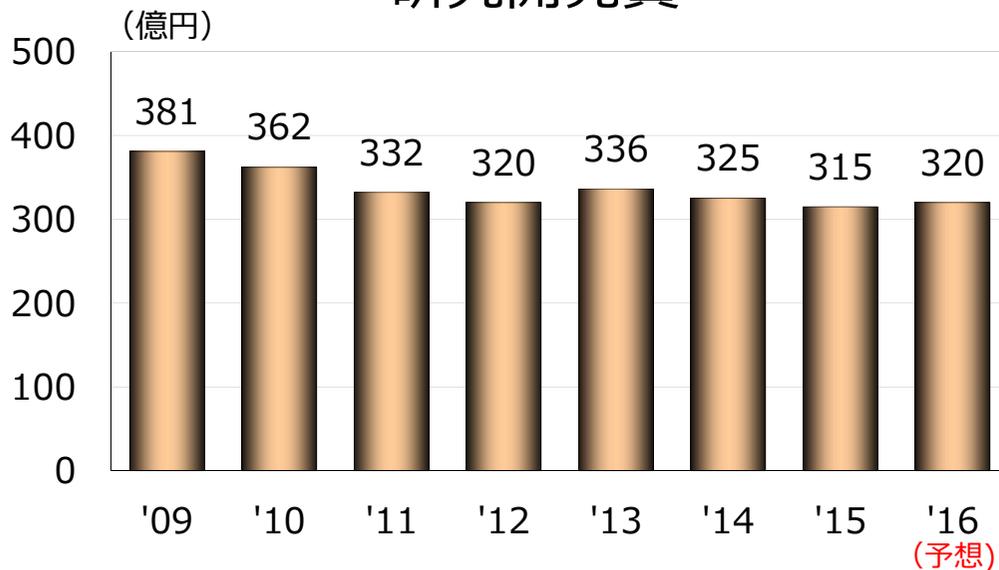
設備投資額



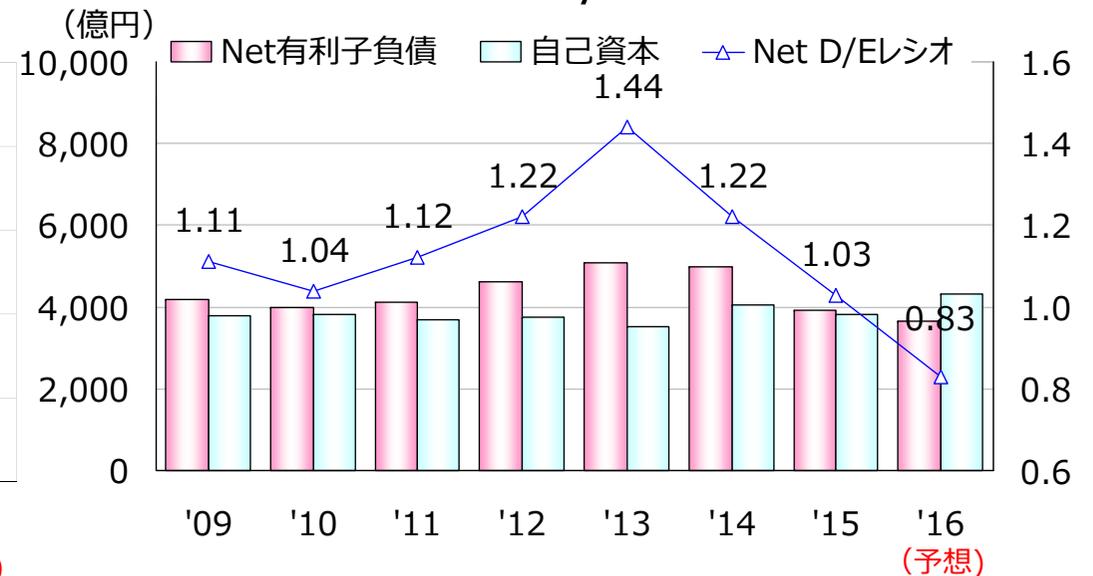
減価償却費



研究開発費



Net D/Eレシオ



4) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (四半期別)

売上高推移

(単位：億円)

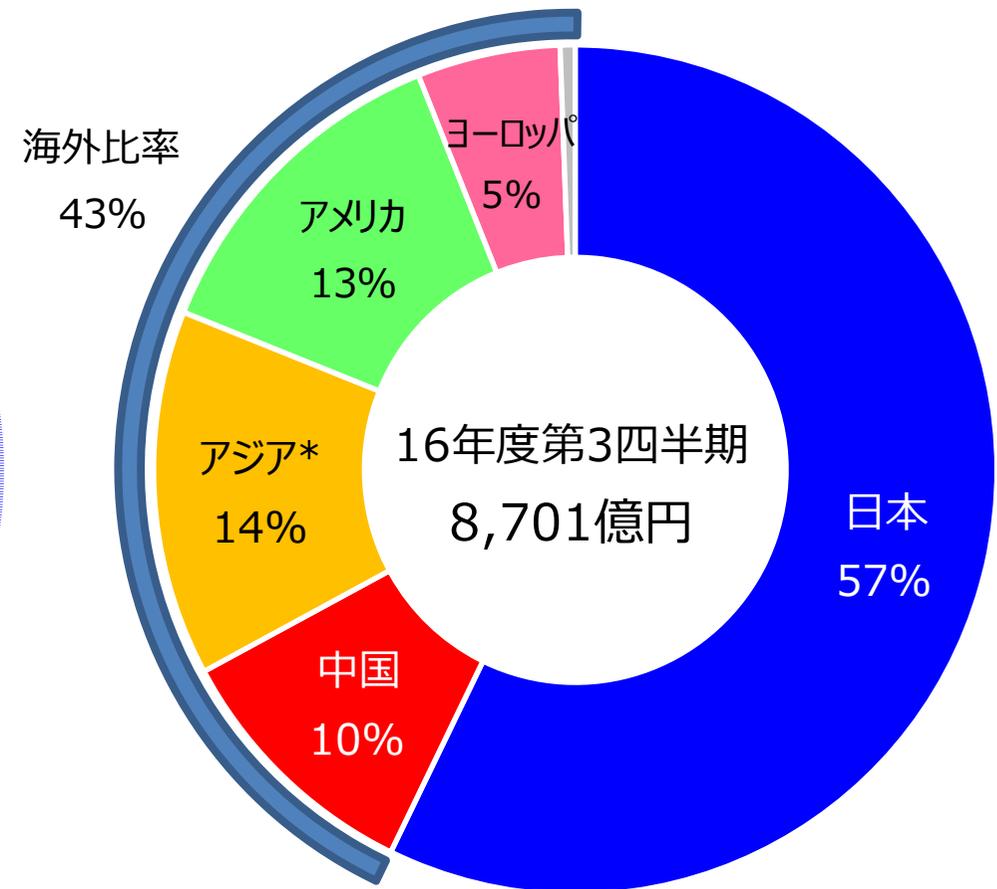
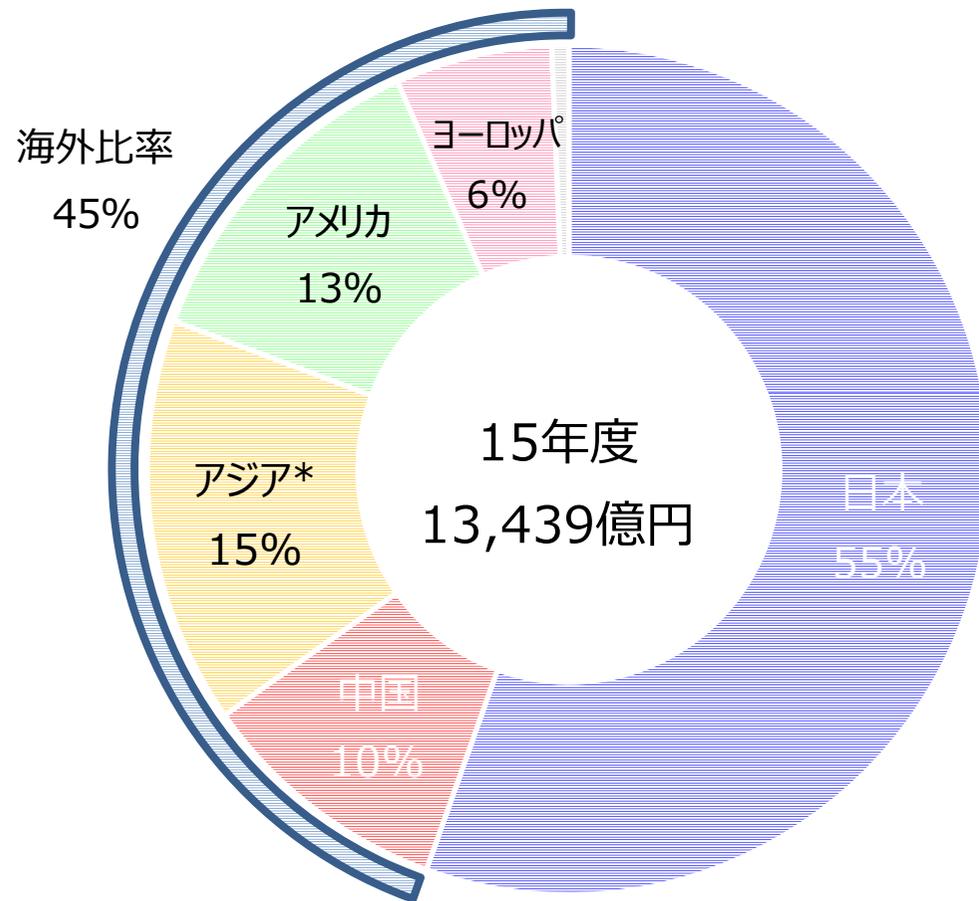
セグメント	15年度				16年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
モビリティ	862	783	762	775	747	670	744
ヘルスケア	492	382	378	359	351	321	328
フード&パッケージング	503	463	477	509	444	439	437
基盤素材	1,842	1,571	1,523	1,372	1,307	1,225	1,422
その他	92	96	92	106	88	95	83
合計	3,791	3,295	3,232	3,121	2,937	2,750	3,014

営業利益推移

(単位：億円)

セグメント	15年度				16年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
モビリティ	128	112	109	100	120	91	100
ヘルスケア	22	29	33	32	32	22	25
フード&パッケージング	65	44	48	46	57	53	39
基盤素材	29	14	△ 19	△ 14	70	48	121
その他	△ 17	△ 12	△ 21	△ 19	△ 24	△ 15	△ 23
合計	227	187	150	145	255	199	262

5) 地域別売上高比率



* アジア：日本及び中国を除く

6) 2016年度 第3四半期までのトピックス

<トピックス>

- ・三井化学韓国支社を現地法人化（16年4月）
- ・名古屋工場における高機能不織布設備の増設工事着工（16年4月）
（1.5万トン/年、17年度営業運転開始予定）
- ・システムハウス メキシコ拠点稼働開始（16年4月）
- ・大牟田工場 MDIプラント停止（16年5月、6万トン/年）
- ・三井化学アグロ、インドPI Industries Limitedとの登録合併会社設立に合意（16年5月）
- ・ポリプロピレン・コンパウンド能力増強工事着工（16年7月）
（アメリカ・メキシコ・インドの3拠点で5万トン/年、17年度営業運転開始予定）
- ・柔軟性と伸縮機能に優れた高機能不織布設備の増設工事着工（16年7月）
（6,000トン/年、17年度営業運転開始予定）
- ・台湾プラスチック社との電解液JVの営業運転開始（16年7月、1,500トン/年）
- ・三井化学アグロ、ベトナム国Cuulong社との事業・資本提携に合意（16年8月）
- ・シンガポールにおける「エボリュ-™」プラントの本格稼働開始（16年8月、30万トン/年）
- ・人工知能(AI)を用いて、化学プラントの製造過程で製品の品質予測に成功（16年9月）
- ・高機能サンレンズ材料「NeoContrast™」を開発（16年9月）
- ・敗血症に関する新たな検査システムを事業化へ（16年10月）
（富山大学との共同研究、AMED産学連携医療イノベーション創出プログラムに採択）
- ・名古屋工場に電解液の製造設備を建設・完工（16年10月）
（5,000トン/年、17年度営業運転開始予定）
- ・台湾プラスチック社との電解液JVの設備増強工事着工（16年12月）
（3,500トン/年、17年度営業運転開始予定）



Mitsui Chemicals

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、
社会課題を解決する